

ドイツの学習指導要領にみる身体の位置づけとその目標・内容

近藤智靖（筑波大学大学院体育科学研究科）岡出美則（筑波大学体育科学系）

1、はじめに

我が国では平成 10-11 年にかけて小学校から高校までの学習指導要領（以下、要領とする）が改訂された。改訂の大きな柱の一つとして、体操領域の名称変更に伴って「体ほぐしの運動」が位置づけられた。その内容の位置づけは、「体づくり運動」という新領域の一部として位置づけと同時に、他領域においてもその関連性をはかりながら指導していくという位置づけである。また、目標においては「気づき」「調整」「交流」といった三つの視点が設定されている。しかし、内容においては、現在までの体育科教育界での論議をみる限りにおいて、混乱しているといえる。

ほぼ時を同じくして、ドイツにおいても、東西ドイツが統一される前後の 80 年代後半から現在にかけてほぼ 10 年間のうちに要領の改訂作業が行われておる。その結果、今回のドイツの要領の改訂によって、我が国と同様、身体に関する位置づけ方や内容が変わっている州もみられている。

そこで、本研究では身体に関する論議や内容が、我が国と比べても多様なドイツに注目し、各州の要領において身体に関する位置づけ・目標・内容について確認していくことを目的とする。

2、方法

分析には、入手できたドイツの 15 の州の要領、計 22 編を対象^{注1)}とした。

分析の視点は以下の三点である。

- 1)位置づけ
- 2)目標
- 3)内容

上記の視点に関しては、カリキュラムを構成していく上で最低限の情報を保障するために視点として設定した。その理由は、例えば、我が国の場合、要領に掲載されている視点は、小学校の場合「目標」「各学年の目標及び内容」「指導計画の作成と各学年にわたる内容の取扱い」の三点であり、我が国のカリキュラムへの示唆を得るためには、上記の三点は共通に抑えておかななくてはならない視点であると考えている。また、ドイツの場合、各州の要領の記載方法がそれぞれ異なっており、上記の三点に関しては、どの要領においてもほぼ共通して確認できるといった資料上の性質もある。

さらに、上記の三点は次のような視点から具体的に分析した。

1)位置づけ

位置づけについては次の 2 点から確認する。

1)-1 内容領域構成上の身体の位置づけ

独立した領域を持っている州

独立した領域をもっていないが種目に含まれる州

身体の内容がほぼない州

この三点については、領域構成上、身体が独立して学習されるべき領域として設定されているのか、あるいは、他領域との関連の中で実現していくべきものと考えられているのかを確認するために設定した。^{注2)}

1)-2 学年段階別にみる位置づけの違い

1)-1 で明らかになったことを踏まえ、学年段階別に位置づけの違いがどうなっているかを確認した。それは、学年段階に対応した、カリキュラムの構成原理を検討するために設定した。

2) 目標

目標については、次の2点から確認する。

2)-1 スポーツ科の全体から見る身体目標・課題

2)-2 身体の領域・種目の名称及び目標

3) 内容

内容については次の点から確認する。

3)-1 特徴的な内容

3)-2 体力作りを前面に推進する州と身体経験と体力作りの折衷案的な州

なお、2)-2 及び 3)-1 については、同一領域の名称・目標及び内容と一括して示した方が理解しやすいと判断し、表及び考察を一括して示している。

3、結果と考察

1) 位置づけ

1)-1 領域構成上の身体的位置づけ

表1に示すとおり、15もの学年段階が、に位置づいていた。これは身体に関する内容は個別に実践していくものではなく、種目の中で実現していこうとする発想が強いことを示していると思われる。しかし、については、数の上こそ少ないものの、Hamburg、NRW、Bayern といったドイツ国内でもイニシアチブをとる州が独立領域をもっているのは注目に値する。もっとも、身体に関する内容を独立させているといっても、具体的な位置づけ方は、州によって異なっている。特に独立した領域を設定している州も詳細に検討すると次のような違いが見られた。

1. 並列型

2. 種目領域外型

3. ベース型

4. 上位型

以下では1-4について述べていく。

表1 領域構成上の身体的位置づけ

独立した領域を持っている州	独立した領域をもっていない が種目に含まれる州	身体の内容はほぼない州
Hamburg (1998)(K1-4)(w) Schleswig-Holstein (1997)(K5-10)(w) Thüringen (1995) (K11-12)(o)(選択コース)	Hessen (1995)(K1-4)(w) Baden-Württemberg (1994)(K5-10)(w) Mecklenburg-Vorpommern (1991)(K5-10)(o)	Hamburg (1994)(K5-10)(w) Saarland (1993)(K5-10)(w)

Brandenburg (1997)(K11-13)(o)	Sachen-Anhalt (1993)(K5-10)(o)	
Bayern (1992)(K5-10)(K11-13)(w)	Thüringen (1993)(K1-4) (1995)(K5-10)(o)	
NRW (1999)(K11-13)(w)	Berlin (1993) (K1-6)(K7-10)(K11-13)(o)(w)	
	Sachsen (1992)(K5-10)(o)	
	Saarland (1988)(K1-4)(w)	
	Rheinland-Pfalz (1998)(K5-10)(w)	
	Niedersachsen (1998)(K5-10)(w)	
	Bayern (1992)(K5-10)(K11-13)(w)	
7	1 5	2

1999などは発行年

(w)は旧西ドイツの州 (o)は旧東ドイツの州

Kは学年

1.並列型 (Hamburg と Schleswig-Holstein の場合)

Hamburg(K1-4)と Schleswig-Holstein(K5-10)の場合のように、他種目との並列に位置づけられていた。例えば、Hamburg の場合は、次のようになっている。

1.身体(器具を使わないで動く) 2.ゲーム(ゲームの中で動く) 3.器械(器械を使って、器械で動く) 4.音楽(音楽を使って動く) 5.ゲレンデ(ゲレンデで動く)
(Freie und Hansestadt Hamburg Behörde für Schule, Jugend und Berufsbildung, 1998, p.5)

2.種目領域外型 (Thüringen、Brandenburg の場合)

Thüringen(K11-12)、Brandenburg(K11-13)の場合は、大きな種目の領域とは別に、身体の領域が設定されていた。例えば、Brandenburg の場合、「日常を考えた予防的な効果のある運動行為」(Ministerium für Bildung, Jugend und Sport des Landes Brandenburg, 1997, pp.23-25.)として種目領域とは別に領域が設定されていた。

3.ベース型 (NRW の場合)

NRW(K11-13)の場合は、次のような領域構成になっている。

1,身体を知覚し運動能力を育成する

- 2.ゲームを発見し、ゲーム空間を利用する
- 3.走る、跳ぶ、投げる - 陸上運動
- 4.水の中で動く - 水泳
- 5.器械で動く - 器械運動
- 6.創造、ダンス、表現 - 体操 / ダンス、運動芸術
- 7.ルールの中で、あるいは用いてゲームする - スポーツゲーム
- 8.滑る、進む、回転する - 回転スポーツ、ボート、ウインタースポーツ
- 9.格闘する - 格闘スポーツ

(Ministerium für Schule und Weiterbildung, Wissenschaft und Forschung des Landes Nordrhein-Westfalen, 1999, - L)

この領域構成は、一見すると Hamburg などの並列型と同じように思えるが、その違いは 1 と 2 が、残りの 3-9 のベースとして位置づいていた点である。ただし、位置づけが完全に種目の中に入り込んでしまう の場合とは違う。

4.上位型 (Bayern の場合)

Bayern の場合は他の州と違って不思議な位置づけとなっていた。表 1 にみられるように、Bayern は同じ要領の中に が同居したように記述されていた。Bayern の領域は次のようになっている。

1.健康 2.フェアと協力 3.環境 4.達成すること・形成すること 5.ゲーム
(Bayerischen Staatsministeriums für Unterricht, Kultus, Wissenschaft und Kunst, 1992, pp.754-761)

各スポーツ種目は、このテーマ領域の基に位置づけられていた。すなわち、種目を規定していく上位領域として健康の名の下に身体が位置づいていた。しかし、要領の各種目の内容に関する記述では、各種目の下位として上記の 4 点が示されていたのである。つまり上記の 4 領域が、二重の性質を持っているのである。

の場合もあるように、身体についてほとんど位置づいていない要領もある。このように位置づけに関してもドイツにおいてかなり多様であるといつてよい。では、このような位置づけは、学年段階別にみていくとどうなっているであろうか。

1)-2 学年段階別にみる位置づけの違い

参考とした文献の都合上、K5 - 10 に偏りがみられたが、他の学年段階にまたがって集めることができた要領からいくつかの傾向がみられた。二つ以上の学年段階にまたがっていた要領は、Hamburg、Saarland、Thüringen、Berlin、Bayern であるが、そこには身体の位置づけについて二つの傾向がみられていた。一つは、学年段階によって変化をつけた位置づけをしていた州であり。もう一つは、学年段階に関係なく一貫した位置づけをしていた州である。

表2 学年段階別にみる位置づけの違い

学年段階	独立した領域をもっている州	独立した領域をもっていないが種目に含まれる州	その他（身体の内容なし）
K1-4	Hamburg(1998)	Hessen(1995) Thüringen(1993) Berlin(1993) Saarland(1988)	
K5-10	Schleswig-Holstein(1997) Bayern(1992)	Baden-Württemberg (1994) Mecklenburg-Vorpommern(1991) Sachsen-Anhalt(1993) Thüringen(1995) Berlin(1993) Sachsen(1992) Rheinland-Pfalz (1998) Niedersachsen(1998) Bayern(1992)	Hamburg(1994) Saarland(1993)
K11-13	Brandenburg (1997) Thüringen(1995) Bayern(1992) NRW(1999)	Berlin(1993) Bayern(1992)	

学年段階によって変化をつけた位置づけをしていた州は、Hamburg、Saarland、Thüringen であり、学年段階に関係なく一貫して位置づけている州は、Berlin、Bayern である。

前者の場合、例えば Hamburg では、K1-4 の段階では、身体についての位置づけが独立領域としていたのに対して、K5-10 では、位置づけられなくなっている。また、Saarland の場合は、種目の中に身体に関する内容がみられていたにもかかわらず、K5-10 の段階では、位置づけられなくなっていた。Thüringen の場合は、K1-10 まで種目の中に含まれていたものが、K11-12 に学年があがることによって、独立した専門的な学習に入っていた。

後者の場合、Berlin、Bayern とともに、一貫した方針が貫かれていた。

アイデアの価値判断はできないが、特に前者からは、学年段階が変わることにより領域の構成論が変わってくるといったアイデアがみてとれた。

2) 目標

2)-1 スポーツ科の全体から見る身体の目標・課題

表3から見てとれるように、目標や課題については一貫したキーワードとして健康があげられていた。これは、現代社会の直接経験の不足という生徒の問題と、一方で教科の根拠を何に求めていくのかといった教科の原理に関わる論議が、影響を及ぼしていると考えられる。

健康的な生活の実現のために身体の知覚（感覚、意識化）あるいは運動成果をあげるためにも、動きの知覚などがみられていた。もっとも、知覚については、州によって差があり、例えば Sachsen-Anhalt のように、ほとんどそうした発想がみられないような州もある。

表3 スポーツ科全体の中で身体に関する目標・課題

州	目標・課題（一部抜粋・要約）
Hamburg (K1-4) (1998)	・「知覚能力や指向能力の育成」「感情や表現能力の育成」「運動能力や達成能力」といった視点から自分や自分の身体を探る。(6)
Hamburg (K5-10) (1994)	・個々人の生徒の健康を促進し、健康的な生活を送る上での基礎を作る。(5)
シュレース ビツヒホル シュタイン (K5-10) (1997)	・自分の人格（自己像）、自分の身体（身体像・身体姿勢・身体言語）、自分の運動可能性について知覚する能力の育成 ・運動に関わった身体的な現象や反応を知覚する能力の育成。 ・身体的な状態を知覚する能力の育成（疲労・眠気・休養・努力・健全さなど）。 ・自分の内や外にあるものを知覚する能力の育成（リズム・運動における時空間の構成、運動経過）(18)
Hessen (K1-4) (1995)	・表現能力や知覚能力（動きの形成・身体意識・空間知覚・パートナーの知覚）の訓練 ・協調性（反応力・空間指向性・リズム・バランス・分化の能力）の発達 ・コンディション（持久性・筋力・素早さ）能力の育成 ・健康や衛生的な行動様式を体験して身につけて応用する。(222)
バーデンヴ ュルテンベ ルグ (K5-10)	・運動・ゲーム・スポーツを通じて直接的な感覚的・身体的・物的・社会的な経験を開く。 ・健康教育といった役割を果たすこと(27) (健康教育という視点から)

(1994)	<ul style="list-style-type: none"> ・身体感情や身体意識の経験 ・身体の緊張や弛緩の知覚やコントロール ・運動負荷に対する知識の獲得(28)
Mecklenburg-Vorpommern (K5-10) (1991)	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人に見合ったコンディション、協調性、可動性の発達 ・自分の身体と運動の経験(5)
Sachsen-Anhalt (K5-10) (1993)	<ul style="list-style-type: none"> ・健康的な生活を送るために、スポーツと関わった知識・認識・習慣の獲得 ・自分の身体と関わり、スポーツの負荷を通してリラックスをはかる(6)
Thüringen (K1-4) (1993)	<ul style="list-style-type: none"> ・健康の保持 ・身体の知覚や経験 ・意味ある余暇の形成と健康的な生活の基礎としての生涯にわたるスポーツ活動 (2)
Thüringen (K5-12) (1995)	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の環境の中で健康的な生活を送る。 (健康という視点から) ・運動・ゲーム・スポーツの健康に対する効果を体験し、負荷のかかる状況や運動の場面で自分の身体や自分の(健康)状態に対処する(5)
Berlin (K1-6) (1993)	<ul style="list-style-type: none"> ・健康や成果の向上に対してポジティブな影響をあたえる(1) ・筋力、素早さ、持久性、可動性、協調性の育成.(8)
Berlin (K7-10) (1993)	<ul style="list-style-type: none"> ・コンディションや協調性、戦術能力の改善(7)
Berlin (K11-13) (1993)	<ul style="list-style-type: none"> ・健康の促進 ・多様な運動の経験と身体の経験(2)
Sachsen (K5-10) (1992)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の身体の像の獲得、身体の - スポーツの活動の価値や効果、健康との関連性を知る(7)
Saarland (K1-4)	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生と健康(体育着・洗浄・シャワー)(4) ・健康保持、発達や姿勢やコンディションの低下の防止や、器官の機能の低下の防

<p>(1988)</p> <p>Saarland</p> <p>(K5-10)</p> <p>(1993)</p>	<p>止(5)</p> <p>目標レベルで身体についての記載はない</p>
<p>Brandenburg</p> <p>(K11-13)</p> <p>(1997)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康を促進する ・身体を経験を多く伝え、自分自身の身体と関わる能力を身につける(6-7) <p>(独立領域に目標有り)</p>
<p>Rheinland-Pfalz</p> <p>(K5-10)</p> <p>(1998)</p>	<p>(教育の視点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感じ方(身体を経験) ・健康(フィットネス、健全さ)(7) <p>(具体的目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の基本的資質(持久性、筋力、素早さ、可動性、協調性)を基礎にして、要素的な運動形態(例、走る、跳ぶ、投げる、及ぐ、支える、回転する)を習熟する ・運動フィットネスの維持と改善の能力 ・人間の身体の構造と機能についての考慮 ・「スポーツと健康」「スポーツとトレーニング」「スポーツと環境」 ・肉体的な負荷による身体の変化(例、脈・呼吸・汗)に適切に反応する能力 <p>(7-8)</p>
<p>Niedersachsen</p> <p>(K5-10)</p> <p>(1998)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の身体性を体験したり経験したり、身体と意図的に関わるような体験や経験を取り上げ、大人になったときに自分の年齢にふさわしい健康や健全さを理解する <p>(具体的目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の際に自分の身体を知覚し、その反応を理解し、運動を作る際に考慮する ・自分の身体に対する感受性を高め、場面に応じて行為に転換していく
<p>Bayern</p> <p>(K5-10)</p> <p>(K11-13)</p> <p>(1992)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康 <p>(具体的目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康的なフィットネス：有酸素持久性、筋持久性、可動性 ・運動体験、機敏さ、創造性 ・身体感情、身体意識、弛緩能力 ・安全性 ・衛生と栄養
<p>NRW</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・知覚能力を改善し、運動経験を広げる

(K11-13)	・身体の表現をし、運動を形成する
(1999)	・健康を促進し、健康の意識を高める

2)-2 身体の領域・種目の名称及び目標

表4から名称及び目標について、次のことが指摘できる。

身体の知覚や経験といった内容を重点的に行う種目が、州によって異なる。

領域構成上、従来までのスポーツ種目の名称とは異なる名称となっている州がある。

は、州によって知覚するといった内容を実現していく種目が異なることである。例えば、Sachsenでは、陸上運動の領域で身体の実験に関する内容が実現されているのに対して、Rheinland-Pfalzでは、体操ダンス領域の中で実現していくというように、どの種目で重点が置かれているのが異なっている。

は、9の州において、領域構成上、従来までの種目の名称ではなく、類似した名称や全く異なる名称を当てている。類似した名称としては、例えば、Brandenburgでは、水辺スポーツ全般を指す名称として「水の中で、上での運動」力試しや格闘スポーツを指す名称として「持ち上げる、打つ、投げる」といった名称が使われている。また、全く異なる場合としては、例えばHamburgでは、「道具のない運動」としたり、またBayernでは「健康」という領域名称が使われている。

表4 領域段階別にみる身体の目標と内容

州	領域・種目名	領域・種目別目標（一部抜粋）	内容（一部抜粋）
Hamburg (K1-4) (身) (1998)	身体 道具のない運動 (独立領域)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身身体を知る、受容 緊張と弛緩を感じる ・身体を用いて何かを表現する ・走るリズムや呼吸に対する感情を高め自分の成果を評価する 身体のシグナルの知覚 ・自分の跳ぶ能力を評価する ・押し引きしながら自分や他人の身体を感じる 	緊張と弛緩 表現遊び 走る 跳ぶ 格闘する
Hamburg (K5-10) (体) (1994)	スポーツトレー ニング スポーツと健康 (選択領域)	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニングの計画と実行 ・スポーツの活動の健康や健全さに対する効果 	理論と実践学習 理論と実践学習

Schleswig-Holstein (K5-10) (体)(身) (1997)	適性を維持する (独立領域) 筋力トレーニング(テーマ学習)	<ul style="list-style-type: none"> ・持久性、筋力、機敏さ、協調性の発展 ・リラクゼーションする方法 ・健康的な生活を送るための知識 ・健康と運動の質の向上 	トレーニング 身体感情を高める方法 理論学習 理論と実践学習
Hessen (K1-4) (体)(身) (1995)	ゲーム リズム運動ダンス 走-跳-投 回転-滑走-前進	<ul style="list-style-type: none"> ・知覚能力、指向能力の発達 ・筋力、持久性、瞬発力、柔軟性、機敏さの発達 ・自分の身体、仲間、グループ、空間、リズム、音に対する感受性 ・運動の基本資質の改善(筋力、持久性、瞬発力、協調性) 技術の意味を知る(呼吸技術、身体姿勢) ・バランス感覚、協調性の発達 	ゲーム種目全般 リズム運動、ダンス全般 陸上運動全般 呼吸法、緊張と弛緩 ローラブレード スキー、自転車全般
Baden-Württemberg (K5-10) (体)(身) (1994)	器械運動 体操-運動-表現 陸上運動 水泳 ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の筋力や能力に合わせた負荷 ・協調性やコンディションの能力 ・姿勢の矯正 ・自分の身体の動きの可能性の意識化 ・コンディションの促進(特に持久性) ・心肺系の機能促進 ・持久性、瞬発力 ・健康と関わった衛生 ・自分の身体の知覚 ・目標とする負荷 	身体の経験という項目あり 器械運動全般 姿勢訓練、弛緩法 全身訓練、機能体操、弛緩法、手具を使った運動全般 陸上運動全般 弛緩法、リズム訓練 水泳全般 プールでの決まり事 フォームの洞察 ゲーム全般
Mecklenburg-Vorpommern (K5-10) (体) (1991)	陸上運動 器械運動 体操 力や格闘スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・コンディション、瞬発力、持久力、可動性の発達 ・コンディション、協調性、可動性 ・筋力や可動性の改善 ・コンディション、協調性、可動性 	陸上運動全般、身体の経験的な走り、ストレッチ 器械運動全般、姿勢訓練 体操全般 格技全般

	ダンス	・自分の身体の知覚	ダンス全般
Sachsen-Anhalt (K5-10) (体)(身) (1993)	陸上運動 器械運動 体操ダンス 格闘スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・コンディション、協調性、可動性 ・陸上運動の健康に対する効果 ・身体の経験的な視点や感受性の高まり ・コンディション、協調性、筋力、可動性 ・健康の保持、姿勢の矯正 ・身体意識や能力の改善 ・コンディション、協調性、可動性の発達 	陸上運動全般 理論学習 身体の経験的走り、環境への感受性を高める走り 探求的走り 器械運動全般、理論学習 体操全般 機能体操、ストレッチ、瞑想法 格闘スポーツ全般
Thüringen (K1-4) (体) (1993)	ゲームと基本形態(K1-2) ゲーム(K3-4) 器械運動 ダンス 水泳	<ul style="list-style-type: none"> ・コンディション、協調性 ・身体の経験の蓄積 ・コンディション、協調性 ・協調性、機敏さ ・身体を意識する、身体を暖める、伸びる、力強く ・身体や運動の経験の蓄積 ・衛生、プールでの決まり事、危険時の対処法 	ごっこあそび 伸びる練習、力をつける練習、機能体操 水泳全般 決まり事の学習
Thüringen (K5-10) (体) (1995)	陸上運動 器械運動 体操ダンス 格闘スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・コンディション、協調性 ・負荷のかけ方 ・コンディション、協調性 ・姿勢矯正、怪我防止 ・コンディション、協調性 ・姿勢や健康、機能性の知識 ・コンディション ・衛生の知識 	陸上運動全般 器械運動全般 体操全般 機能体操、エアロビクス ストレッチ、ヨガ 格闘スポーツ全般
Thüringen (K11-12) (体) (1995)	健康とスポーツにおけるトレーニング (独立領域)	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニングとスポーツ生理学の知識 ・運動の道具の構造と機能の知識 ・スポーツでの怪我、事故 	理論と実践学習

Berlin (K1-6) (体) (1993)	体操 陸上運動 器械運動 ゲーム 水泳	<ul style="list-style-type: none"> ・筋力、可動性、姿勢 ・緊張と弛緩の感覚 ・筋力、瞬発力、持久力、可動性 ・筋力、可動性、協調性 ・コンディション、協調性 ・衛生 	<p>トレーニング 弛緩法 陸上運動全般 器械運動全般 ゲーム全般 衛生の知識</p>
Berlin (K7-10) (体) (1993)	器械運動 体操 陸上	<ul style="list-style-type: none"> ・コンディション、協調性 ・運動の資質（体力）の改善 ・陸上運動の健康への効果(持久性) ・筋力、持久性、協調性、機敏さ 	<p>器械運動全般 目的体操、体力トレーニング、姿勢訓練 陸上運動全般</p>
Berlin (11-13) (体) (1993)	体操ダンス 陸上 水泳 器械運動 フィットネス (独立領域) スポーツトレー ニング (独立領域)	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢形成、身体の経験、身体の意識化 ・身体の動きの可能性の探求、緊張弛緩の知覚、感覚刺激の知覚 ・身体トレーニング ・陸上運動の健康への効果(持久性) ・筋力、持久性、協調性、機敏さ ・トレーニング方法を知り実践する ・水泳の健康への価値 ・コンディションの改善 (可動性、瞬発力、支持力、身体緊張、バランスリズム、持久性) ・持久性、可動性、筋力、瞬発力 協調性、弛緩 ・フィットネストレーニングの方法の伝達と応用 ・健康的な生活 ・日常の負荷とスポーツによる補償に関する知識 ・スポーツ中の危険に関する知識 ・スポーツトレーニングの条件、法則性、効果 	<p>体操全般 ダンス全般 陸上運動全般 理論と実践学習 水泳全般 器械運動全般 理論と実践学習 生物学の基礎知識、トレーニング理論、健康促進へのトレーニングコンセプト、自然科学のテーマとしての健康と社会科学のテーマとしての健康、ドーピング</p>

Sachsen (K5-10) (体)(身) (1992)	器械運動	<ul style="list-style-type: none"> ・筋力、筋持久力、瞬発力 ・持久力 ・可動性 / 身体姿勢 ・バランス、指向、分化の能力 ・身体姿勢、運動リズム、筋力の発達に対する器械運動の効果 	障害物、スポーツ種目のミニゲーム リレー、縄跳び、ミニゲーム 伸びたり可動性を高める訓練 ミニトランポリン、器械運動全般、バランス訓練 理論学習
	リズムスポーツ 体操 / ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・筋力、筋持久力、瞬発力、持久力 ・リズム、バランス、分化、指向、 ・可動性 ・健康的な生活のための効果、意味ある余暇生活の形成、協調能力の改善 	エアロビ、ポップ、機能体操 リズム練習、平均台 ストレッチ、ヨガ、クラシックダンスの訓練法 理論学習
	体操 / 目的体操 (K5-6)力試し / 格闘(K7-8)柔道 / レスリング(K 9-10)	<ul style="list-style-type: none"> ・全身を使って負荷をかけることで自分の身体への効果の体験 ・筋持久力 ・瞬発力、バランス ・反応力、機敏性、可動性 	サーキットトレーニング 持ち上げ、移動 押し引き、格闘、ストレッチ、ヨガ 呼吸、歩幅、リズム、インターバル、適切な感情 様々な動き ごっこあそび 走運動全般 陸上運動全般 ストレッチ、体操訓練 理論学習
	陸上運動	<ul style="list-style-type: none"> ・身体の内経 ・持久性 ・瞬発力 ・筋力 ・可動性 ・健康のための陸上運動の価値 	山や丘での走り 体育館や学校でのオリエンテーリング ルート選択、テンボ選択 様々なゲレンデ ゲーム形式（水遊び） 走る、投げる
	オリエンテーリング	<ul style="list-style-type: none"> ・健康への効果（呼吸 - 循環系） ・持久性、筋持久性 ・瞬発力 ・集中力、決断力、方向感覚 	
	水泳	<ul style="list-style-type: none"> ・身体の内経 	
	テニス	<ul style="list-style-type: none"> ・筋力、瞬発力、持久性 	

		<ul style="list-style-type: none"> ・反応力、リズム、バランス ・可動性 	ミニゲーム、ボール練習 肘関節、背骨
Saarland (K1-4) (体) (1988)	<p>体操</p> <p>道具を使ったり使わなかったりするゲーム (K1-2)</p> <p>道具を使ったり使わなかったりするゲーム (K3-4)</p> <p>大きな器械や器具を組み合わせたゲーム的な運動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・筋肉の弛緩 ・反応力、バランス ・体力の改善 ・反応力、素早さ、持久性 ・体力、機敏さ、筋力、勇気、運動創造性 	機能体操 道具を使つてのゲーム (豆袋、自転車チューブ) 機敏さ巧みさのゲーム (道具や器械を使つてのゲーム) 陸上運動全般 器械運動全般
Saarland (K5-10) (体) (1993)	<p>陸上運動</p> <p>自主的、自己責任的、社会的能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・持久性 ・運動形態と運動体力を知る ・筋肉の作用について知る ・トレーニング原理 ・健康と環境教育 	長距離走 理論学習
Brandenburg (K11-13) (体) (1997)	<p>体操 / ダンス / 器械運動</p> <p>進む / 走る / 跳ぶ</p> <p>水の中で、上での運動</p> <p>持ち上げる、打つ、投げる</p> <p>日常を考えた予防的な効果のあ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コンディション、身体の意識化 ・筋肉の知識、緊張と弛緩の知識 ・予防的な訓練 ・コンディション、協調性、持久性 ・フィットネス意識 ・緊張の改善、身体の経験の蓄積 ・筋力、素早さ、機敏さ、可動性 ・弛緩と呼吸訓によりストレスの解消 	エアロビ、スポーツ体操 ヨガ、ストレッチ 理論学習 体操ダンス器械運動全般 陸上運動全般、ウインタースポーツ全般、トランポリン、自転車 理論学習 水辺スポーツ全般 力試しの運動、柔道、レスリング 座り仕事、立ち仕事、重い物を持ち上げたり運ん

	る運動行為 (独立領域)	・トレーニング方法の獲得 ・予防的な行為能力	だりする仕事 (それぞれ多くの例あり)
Reinland-Pfalz (K5-10) (体)(身) (1998)	器械運動	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の身体の経験 ・身体の緊張の改善、支持筋力や体幹の筋力の改善 	器械運動全般
	体操ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・協調性 ・可動性 ・自分の身体に集中し知覚する 	機能体操(自分や他人の身体の知覚<道具と関わりながら>、弛緩法、深呼吸信頼訓練、集中訓練)
	陸上運動	<ul style="list-style-type: none"> ・コンディション、協調性 ・身体の負荷に適切に反応 	陸上運動全般
	水泳	<ul style="list-style-type: none"> ・水とともにあるいは水に対しての身体の経験についての感情 ・身体の負荷に適切に反応 ・筋力 	水泳全般
	(テーマ学習)		
	スポーツと生物	<ul style="list-style-type: none"> ・持久性、心肺系の負荷、栄養 	理論学習
	スポーツと情報	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニングプラン、時間を見通したアッププログラムの学習 	理論学習
	スポーツと健康		理論学習
	中毒と依存		理論学習
	性の関係		理論学習
Niedersachsen (K5-10) (体)(身) (1998)	ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や他人の身体を媒体として知覚する 	ゲーム全般
	水泳、潜水、飛び込み	<ul style="list-style-type: none"> ・持久性、素早さ ・健康教育の一環として水中の身体の反応や運動の効果 	水泳全般
	体操的、リズム的、ダンス的な運動	<ul style="list-style-type: none"> ・身体に対する感受性 ・筋力、柔軟、弛緩 	体操全般
	走る、跳ぶ、投げる、移動する	<ul style="list-style-type: none"> ・弛緩、身体や環境への感受性 ・持久性 ・健康への意味 	長距離走
	格闘スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の身体に対する配慮 ・身体の接近 ・感情の統御 	格闘スポーツ全般

<p>Bayern (K5-10) (K11-13) (体)(身) (1992)</p>	<p>健康 (独立領域) (非独立領域) (健康指向的な フィットネス)</p> <p>(運動、機敏さ 創造性) (身体感情、身 体意識、弛緩能 力) (安全性) (衛生と健康)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・有酸素持久性 ・筋持久性 ・可動性 ・協調性の改善、機敏さの改善 ・身体反応の知覚、感受性の発展 ・持久 - 可動性 ・生活スタイルの違いによる身体の 自己像への影響 ・スポーツにおける健康への危険性 の防止、感受 ・アップとダウンの意味 ・衛生 ・休息、栄養 	<p>陸上、スキー、器械運動 体操/ダンス、ゲーム全 般で実現</p> <p>呼吸技術、負荷のコント ロール、過激なトレーニ ングへの批判的態度、ト レーニングへの自主的参 加</p> <p>筋力トレーニング 弛緩法、生理学解剖学の基 礎知識、</p> <p>成果、創造、ゲーム全般 で実現</p> <p>心理調整法、持久 - 可動 性のトレーニング、 理論学習</p> <p>理論学習</p>
<p>NRW (K11-13) (体)(身) (1999)</p>	<p>身体を知覚し運 動能力を育成す る (独立領域)</p> <p>走る、跳ぶ、投 げる</p> <p>水の中で動く</p> <p>器械で動く</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身体を知覚、可能性と限界 ・コンディション、協調性 ・身体の適性/負荷、緊張/弛緩、 力の流動性 ・コンディション、協調性 ・身体を経験 ・健康促進 ・身体や運動を直接体験として知覚 	<p>弛緩法、機能体操、フィ ットネストレーニング、機 能的な運動</p> <p>陸上運動全般</p> <p>飛び込み、潜水</p> <p>器械運動全般</p>

	創造、ダンス、 表現 ルールの中であ るいは用いてゲ ームをする 滑る、進む、回 転する 格闘 (テーマ学習) 緊張と弛緩 持久性の改善 スポーツを通じ ての健康、病気 エアロビクスと インラインスケ	<ul style="list-style-type: none"> ・知覚能力の分化 ・運動や身体の実験の広がり ・自分の健康や他人の健康に対して 責任の意識を持つ ・健康促進としてのスポーツ活動 ・直接的な身体接触 ・特別な信頼感 ・フィットネスの改善 ・様々な感覚の導入 ・フィットネスの改善と流行スポー ツ 	体操・ダンス全般 ゲーム全般 回転スポーツ、ボート ウィンタースポーツ 格闘スポーツ全般
--	--	--	--

体力作りの内容の濃い要領 (体)

身体の実験や知覚や感覚的な内容の濃い要領 (身)

3) 内容

3)-1 特徴的な内容

表 4 から内容としては、次の点が指摘できる。

身体を知識として学習していくこと。

緊張と弛緩といった両極の感覚の実験をさせていること。

は、10州において身体や運動に関する知識の内容が位置づけられていた。このことについては、身体に対するアプローチの仕方が、主に運動学習を中心としながらも、生物学やトレーニングの理論を中心として認識の面からも行われていることの現れであるといえる。

は、13州で、緊張や弛緩、あるいはヨガなどの内容が位置づいていた。それは健康という点からみて、いかに力を抜くのかあるいは弛緩を通じて身体を統制していくのかということが大きな問題になっていることの現れである。

以上のことから、西洋の自然科学的な発展によって得られた知見と、東洋のヨガや弛緩法など感覚的な経験との融合が指導要領上で進められているといえる。

3)-2 体力作りを前面に推進する州と「身体の実験や経験と体力作り」の折衷的な州

表 5 では、表 4 を受けて体力作りのイメージを推進している州と、身体の実験や経験と体力作りの折衷案を推進している州に分けた。その結果、ともに 11 の学年段階に分かれたいたが、その内訳を見ると概ね、体力作りには、旧東ドイツの州が多く、身体の実験と体力作りの折衷案は概ね旧西ドイツの

州にみられた。この背景には、東西ドイツの統一によって、旧東ドイツ系の要領が、90年代の前半に作成され、以前のスポーツ種目主義的な発想を色濃く残したまま現在に至っていることが原因であるといえる。

表5 体力作りを前面に推進する州と「身体の知覚経験と体力作り」の折衷案的な州

体力作り	身体の知覚や経験と体力作りの折衷
Hamburg (1994) (K5-10)	Hamburg (1998) (K1-4)
Mecklenburg-Vorpommern (1991) (K5-10)	Schleswig-Holstein (1997) (K5-10)
Thüringen (1993) (K1-4) (1995) (K5-10) (K11-12)	Hessen (1995) (K1-4) Baden-Württemberg
Berlin (1993) (K1-4) (K5-10) (K11-13)	(1994) (K5-10) Sachsen-Anhalt (1993) (K5-10)
Brandenburg (1998) (K11-13)	Sachsen (1992) (K5-10)
Saarland (1988) (K1-4) (1993) (K5-10)	Rheinland-Pfalz (1998) (K5-10)
	Niedersachsen (1998) (K5-10)
	Bayern (1992) (K5-10) (K11-13)
	NRW (1999) (K11-13)

4、まとめ

以上のように、位置づけ、目標、内容の三つの点から検討してきたが、結果をまとめると次のようになる。

- 1)位置づけに関しては、いくつかの方法がみられたが、概ねスポーツ種目領域の中で実現していく州が多くみられた。しかし、全体的に位置づけをめぐるには混乱が見られた。また、カリキュラムの構成原理を学年段階を越えて一貫して続けている州と、構成原理を学年段階によって変えている州があった。
- 2)目標に関しては、健康ということが設定されていた。その背景には現代社会の問題となっている直接経験の不足という点があり、それを無視できないという状況が見られていた。また、領域名称に変化もみられた。それは、健康という目標に代表されるように、教科の目標がスポーツ種目に関連した諸能力の向上だけでなく、新たな発想から行われており、同時に領域名称を再編成せざる得ない状況が見られた。さらに、身体を実現すべき種目が州によって異なる傾向が見られており、多様なアイデアが見られた。
- 3)内容に関しては、身体に関する自然科学による知識と自分の身体の感覚との統一が求められていた。

また、体力作り一辺倒は、主に旧東ドイツ系の州に見られた。

こうした結果を踏まえ次の五点を示唆として導き出すことができる。

まず第一に、身体の位置づけについては、現在の我が国のケースを固定的なものと捉えず、柔軟に検討した上で位置づけていく必要がある。

第二に、カリキュラムを構成する原理を学年段階によって変えてしまうというアイデアがある。

第三に、教科の目標を再度検討し、名称も含めてさらなら再編成の可能性がある。

第四に、自然科学的な知識と自らの身体の感覚とを合わせた形で一つの単元を構成していくアイデアがある。

第五に、体力を高める運動と体ほぐしの運動とを別単元で構成するのではなく、同一単元の中で融合しながら展開していくアイデアがある。

5、今後の課題

今後の課題として次の三点があげられる。

- 1、本研究で対象とできなかった学年段階及び州の要領を含めて再度検討すること。
- 2、要領の作成者の問題意識や作成過程に見られた論議を確認すること。
- 3、現在の要領がどの程度、現場で受け入れられ、展開されていくのかを確認していくこと。

1については、本研究の検討対象が特に K5-10 に偏っており、K1-4 が不足していた。そのため、学年段階でのカリキュラムの構成原理をより精緻に見ていくことができなかつたといえる。

2については、要領が作成されていく上で、作成者達の問題意識がどのように反映されたのかについて確認し得なかつたといえる。もっとも、そうした問題意識を確認していくためには、改訂作業の議事録を含め、イニシアチブをとった人の考えを知っておく必要があり、資料の面から非常に難しさが残るといえる。

3については、検討した要領が現場でいかに受け入れられ、評価されているのかについて確認しておく必要があること。つまり、基準となる要領と実態とのギャップを確認した上で改めて要領の是非が問えると考える。しかし、これについては現地での調査が必要になると考えられ、今後の課題となる。

注釈

- 1) 今回対象としたのは、Hamburg、Hessen、Schleswig-Holstein、Baden-Württemberg、Thüringen、Mecklenburg-Vorpommern、Brandenburg、Sachsen-Anhalt、NRW、Bayern、Berlin、Sachsen、Saarland、Rheinland-Pfalz、Niedersachsen の 15 の州の要領である。なお、ブレーメンについては作成された年が 1979 年と 1982 年であったために、分析対象から除外した。
- 2) 我が国の「体ほぐしの運動」の場合、先述した通り「体づくり運動」という新しい領域のワンパートとして位置づけられていると同時に、他領域においてもその関連性をはかりながら指導していくという位置づけ方をしている。

付記

本研究は、本科研費とともに平成 11 年度筑波大学学内プロジェクトの助成研究(B)を受けて進められたものである。

文献

Bayerischen Staatsministeriums für Unterricht,Kultus,Wissenschaft und Kunst(Hrsg)(1992) Lehrpläne für das bayerische Gymnasium Fachlehrplan für Sport Teil (Basissportunterricht, Erweiterter Basissportunterricht,Grundkurs,Leistungkurs,Sportförderunterricht). Kommunalschriften-Verlag:München

Bayerischen Staatsministeriums für Unterricht,Kultus,Wissenschaft und Kunst(Hrsg)(1992) Lehrpläne für das bayerische Gymnasium Fachlehrplan für Sport Teil (Differenzierter Sportunterricht der Jahrgangsstufen 7 mit 11 des Gymnasium)Kommunalschriften-Verlag:München

Die Kultusministerin des Landes Mecklenburg-Vorpommern(1991)Vorläufiger Rahmenrichtlinien Hauptschule Realschule Gymnasien Sport.mbH&Co.KG:

Freie Hansestadt Bremen Der Senator für Bildung(1979)Lehrpläneentwurf Kunst/Sport Sekundarsstufe :Bremen

Freie Hansestadt Bremen Der Senator für Bildung(1979)Unterrichtrahmen Kunst/Sport Sekundarsstufe :Bremen

Freie und Hansestadt Hamburg Behörde für Schule,Jugend und Berufsbildung(Hrsg)(1994) Lehrpläne für Haupt-und Realschulen,Gesamtschulen und Gymnasien Sekundarstufe Sport. Löding Computersatz:Hamburg

Freie und Hansestadt Hamburg Behörde für Schule,Jugend und Berufsbildung(Hrsg)(1998) Handreichung für den Sportunterricht in der Primarstufe.D&K Druck:Hamburg

Hessisches Kultusministerium(Hrsg)(1995)Rahmenplan Grundschule.Verlag Moritz Diesterweg:Frankfurt/Main

Kultusministerium des Landes Sachsen-Anhalt(1993) Rahmenrichtlinien Sekundarschule Sport.Gebr Garloff:Magdeburg

Ministerium für Bildung,Jugend und Sport des Landes Brandenburg(Hrsg)(1997) Unterrichtsvorgaben Sport in der Beruflichen Bildung Sekundarstufe .Wissenschaft und Technik Verlag:Berlin

Ministerium für Bildung,Wissenschaft und Forschung und Kultur des Landes Schleswig-Holstein(1997)

Lehrpläne für die Sekundarstufe der weiterführenden allgemeinbildenden Schule Hauptschule Realschule, Gymnasium Gesamtschule.Glückstädter Werkstätten:Glückstadt

Ministerium für Bildung,Wissenschaft und Weiterbildung(Hrsg)(1998) Rheinland-Pfalz Lehrpläne Sport Sekundarstufe (Klassen 5-9/10) Hauptschulen Realschulen Gymnasien Regionale Schule Gesamtschulen,Sommer Druck und Verlag:Grünstadt.

Ministerium für Kultus und Sport Baden-Württemberg(Hrsg)(1994)Kultus und Unterricht Amtsblatt des Ministeriums für Kultus und Sport Bildungsplan für die Realschule.Neckar Verlag:Villingen-Schwenningen

Ministerium für Schule und Weiterbildung,Wissenschaft und Forschung des Landes Nordrhein-Westfalen(Hrsg) (1999) Richtlinien und Lehrpläne für die Sekundarstufe -Gymnasium/Gesamtschule in Nordrhein-Westfalen:Ritterbach Verlag:Frechen

Niedersächsisches Kultusministerium(Hrsg)(1998)Grundsätze und Bestimmungen für den Schulsport. Schroedel Verlag:Hannover

Saarland Ministerium für Bildung und Sport(Hrsg)(1988)Lehrpläne Sport Grundschule Klassenstufen 1 bis 4 '88.Krüger Druck + Verlag:Dillingen

Saarland Ministerium für Bildung und Sport(Hrsg)(1993)Lehrpläne Sport Allgemeinbildende Schulen Klassenstufen 5-10 '93.Krüger Druck + Verlag:Dillingen

Sächsisches Staatsministerium für Kultus(Hrsg)(1992)Lehrpläne Mittelschule Sport Klassen5-10. Sächsisches Druck-und Verlagshaus:Dresden

Senatsverwaltung für Schule,Jugend und Sport(1993)Vorläufiger Rahmenplan für Unterricht und Erziehung in der Berliner Schule Grundschule.Offsetdruckerei G.Weinert:Berlin

Senatsverwaltung für Schule, Jugend und Sport (1993) Vorläufiger Rahmenplan für Unterricht und Erziehung in der Berliner Schule Gymnasiale Oberstufe. Offsetdruckerei G. Weinert: Berlin

Senatsverwaltung für Schule, Jugend und Sport (1993) Vorläufiger Rahmenplan für Unterricht und Erziehung in der Berliner Schule Klassen 7-10 Gesamtschule Hauptschule Realschule Gymnasium Sonderschule. Offsetdruckerei G. Weinert: Berlin

Thüringer Kultusministerium (Hrsg) (1993) Vorläufiger Lehrpläne für die Grundschule Sport. Fortschritt Erfurt: Erfurt

Thüringer Kultusministerium (Hrsg) (1995) Vorläufiger Lehrpläne für das Gymnasium Sport Fortschritt Erfurt: Erfurt

Thüringer Kultusministerium (Hrsg) (1995) Vorläufiger Lehrpläne für die Regelschule Sport. Fortschritt Erfurt: Erfurt